参考資料

（ステップ 3 検討資料）

仮設（暫定）自由通路について

1．沼津高架 PI における整理、想定

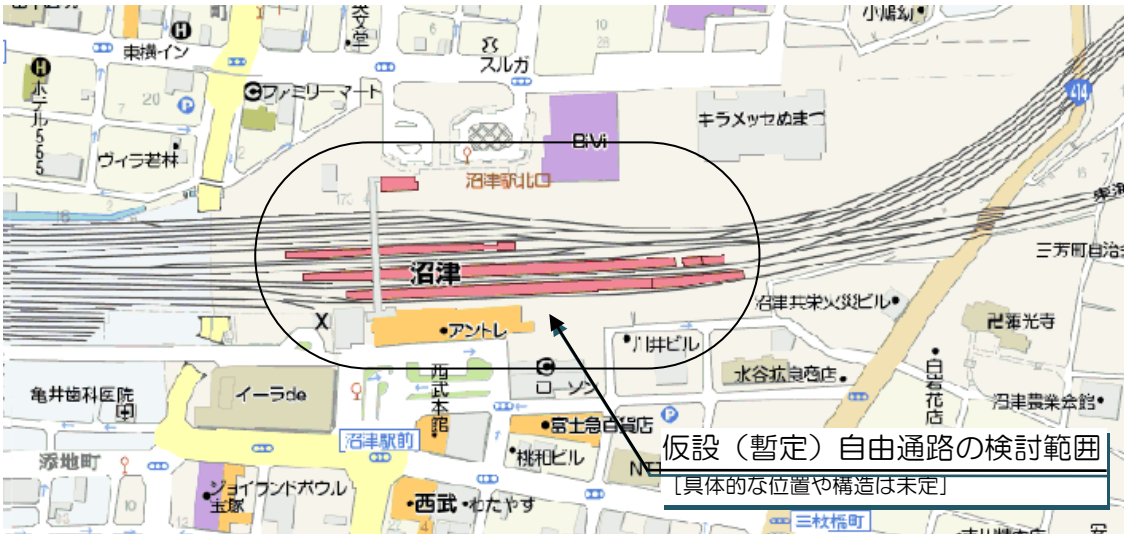
・どの案でも併せて提案されているもの。

・延長 60m程度、幅員 6m程度と想定。

・耐震基準や機能（エレベーター、エスカレーター）は、本設と同程度と想定。

・設計工事に 5 年程度、15～20 億円と想定。（※地下式の場合は、橋梁形式の場合に比べ、数倍の事業費になると見込まれる。）

・具体的な位置や構造は未定。



2．設置に当たっての課題

・鉄道事業者との協議が必要。

・位置によっては、用地取得が必要。

【沼 A 案（総合整備型）に併設の場合】

・高架構造物の計画高さの更に上部に、仮設（暫定）自由通路を造る必要がある。

・もしくは、高架工事に進捗に合わせて、通路の切り廻しを行う。

【沼 B 案（個別対応型）に併設の場合】

・本設の自由通路の支障とならない位置に仮設（暫定）自由通路を造る必要がある。

・もしくは、橋上駅などの工事に進捗に合わせて、通路の切り廻しを行う。